

令和4年12月14日

教育長 答 弁 実 録

（教育委員会）

（問）学校部活動の地域移行に係る学校における現状と課題について

部活動の地域移行については、生徒が安心してスポーツや文化活動に取り組めるよう、あくまで生徒を議論の中心に据えて進める必要があると考えるが、本県の地域移行に係る現状と課題をどう認識しているのか、教育長に伺う。

（答）

公立中学校の部活動の地域移行に当たりましては、地域社会において、生徒の多様なスポーツ・文化体験の機会を確保し、生徒の望ましい成長を保障する必要があると捉えております。

このため、部活動の地域移行に当たりましては、生徒の活動の充実の観点から、

- ・ これまで受けられなかった専門性のある指導を受けることが可能となること、

- ・ 複数校での合同活動による練習環境の充実や大会への参加機会の拡大などについても、県内3市におきまして、国の「地域運動部活動推進事業」を活用して、実践研究を行っているところでございます。

また、11月に「県市町担当課長会議」を開催し、国の概算要求の内容等について説明するとともに、各市町の取組状況等について意見交換したところでございます。

こうした取組によって見えてきた課題といたしましては、これまでの、

- ・ スポーツ・文化芸術団体等の受け皿がないこと、
- ・ 指導者の確保が困難であること、
- ・ 保護者の費用負担が生じること

に加え、

- ・ 学校・保護者・生徒・スポーツ団体等、それぞれの考え方、認識のずれがあること、
- ・ 市町ごとで取組の進捗に差がみられ、一部の市町は取組に着手できていないこと

などが明らかになったところでございます。

今後は、こうした課題につきまして、市町や関係団体等と丁寧に議論を行い、生徒が安心してスポーツや文化活動に取り組めるよう整理を進め、部活動の地

域移行が円滑に進むよう、取り組んでまいります。